

令和2年度はこんなことをします

- 維新[ISHIN] 32号発行
- 4~5月** ● 新型コロナウイルス
感染症対策に伴う休館(～5月6日)

- 6月** ● 維新ふるさと館歴史講座

- 維新ふるさと館歴史講座
- 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉
- 夏休み親子講座(小・中学生対象)
- 維新[ISHIN] 33号発行

- 教職員のための歴史講座
- 歴史の質問、引き受けます(小・中学生対象、毎週水曜日)
- 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉
- かごしま折々あそび展

- 西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展(～10月)
- 維新を歩く〈史跡めぐりバスツアー〉

※イベントなどは開催時期、内容などが変更になる場合があります。
※講座、シンポジウムなどは申し込みが必要です。

温故地新

ふる故きをたず温ね、地元を新たに。

鹿児島市・鶴岡市兄弟都市盟約 50周年記念タペストリー両市に寄贈

昨年11・12月に鹿児島市と鶴岡市の兄弟都市盟約50周年を記念して「サムライのシルク展」を開催しました。その中で鶴岡シルクと大島紬のコラボ企画として、縦糸に大島紬の絹糸、横糸には鶴岡シルクのきびそを織り込んだ反物を製作。織り手は県内外の観光客の皆様から鶴岡市長までと多くの方が携わり、2ヶ月かけて12メートルの反物が完成し、この反物から赤紫色と藍色を基調とした目を引くモダンなタペストリーができあがりました。

両市の歴史が織り込まれたこのタペストリーは、本場大島紬織物協同組合有志と鶴岡織物工業協同組合のそれぞれが、鹿児島市と鶴岡市に寄贈しました。

市役所にお立ち寄

◀3月下旬、鹿児島市に寄贈



りの際は是非ご覧いただき、その歴史や風合いを感じてください。

当館ではこれからも鶴岡市との交流を続けていきます。

鹿児島市観光サイト リニューアル

この度、鹿児島市観光サイト「よかとこかごんまナビ」は、「かごしま市観光ナビ」と名称を改め、リニューアルしました。



今回のリニューアルでは、利用者の皆様に、より使いやすく、より分かりやすい観光サイトを目指し、デザインや機能を一新しました。また、スマートフォンからも快適にご利用いただけるようになっています。

観光スポットやグルメ、イベントの情報はもちろんのこと、季節のおすすめ情報やモデルコースなども発信していますので、ぜひ、ご覧ください。

かごしま市観光ナビ

<https://www.kagoshima-yokanavi.jp/>

- 維新ふるさとCafé(～11月)
- 維新ふるさと館歴史講座
- 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉
- 維新[ISHIN] 34号発行

- 11月** ● 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉

- 維新ふるさと館歴史シンポジウム(演題未定)
- 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉
- かごしま折々あそび展

- 新春寄席
- 維新演劇シアター〈創作歴史コント〉
- かごしま折々あそび展
- 維新[ISHIN] 35号発行

- 2月** ● 維新ふるさと館歴史講座

- 維新ふるさと館歴史講座
- かごしま折々あそび展

- 3月** ● 維新ふるさと館歴史講座



(鹿児島市西千石町)

樺山、黒田 大いに語る

維新を歩く

高見馬場交差点に立つ2人の銅像。天保8年(1837)高見馬場橋口家に生まれ、樺山家の養子となった樺山覺之進(資紀)と、天保11年(1840)新屋敷に生まれた黒田良介(清隆)が、語り合っている姿です。樺山は薩英戦争・戊辰戦争に従軍したのち、明治政府で警視総監・海軍大臣・初代台湾総督に就任した軍人です。一方、黒田清隆は、薩長同盟締結に尽力、榎本武揚の助命嘆願・北海道開拓使での活躍の後、第2代内閣総理大臣を務めたいわゆる明治の元勲です。

2人が熱く語り合っていることは、果たしてどんなことでしょうか。彼らが20代を迎えた安政年間(1854～1859)は、ペリー来航を契機とする对外政策における幕府と朝廷の思惑や駆け引き、將軍後継者を巡る開明派と保守派の対立、困難な事態への対処に揺れる国内諸藩の上下級武士など、混沌とした事態が世を席巻していました。手紙という極めて限られた通信手段しかなかった時代、ずいぶん時が経過してからもたらされる少ない情報

のなかで、国の行く末に思いを致し、自らの対応をどうするのか、どうするべきなのか、熱血漢の2人です、さぞかし「おいが」「わいが」と論争したことでしょう。

薩摩藩では、天保年間における調所広郷の必死の努力によって財政改革が成り、嘉永4年(1851)には、英邁第一といわれた齊彬が藩主に就任して、その強い指導力の下、時勢に役立つ行動力のある子弟の育成がめざされていました。また、時勢を憂え、血気にはやる薩摩の二才たちは、詮議によってここぞというときに的確な判断が出来るように思考をとぎすまし、町内には西郷や大久保らがいて強い感化を与えていましたから、活発な論議が交わされたであろうことは想像にかたくありません。

薩摩や長州を中心とする若手下級藩士たちのエネルギーが、のちの倒幕運動や明治維新に繋がっていったのだろうと考えると、2人がどのような論争を交わしたのか想像しながら、歴史の流れを振り返ってみるのもなかなかに興味深く思われます。

(文・肥後秀昭維新ふるさと館歴史解説員)

時標 マップ



7つの シーンを歩こう!

近代日本に影響を与えた薩摩の人々をより身近に感じていただくために、人と場所、出来事を結びつけてご紹介します。

多くの偉人を輩出した鹿児島。

あの時この場所で。

近代日本をつくった人々が残した足跡のあるこのまちで、歴史を動かした人々の思い、活躍した様子を体感してみてください。



1 時標

イギリス艦、鹿児島湾に現る

大山巣、西郷従道、山本権兵衛

薩英戦争を招いた生麦事件。賠償を求めるため、イギリス艦隊が現れたのを聞き、大山巣、西郷従道、山本権兵衛が急いで向かった。

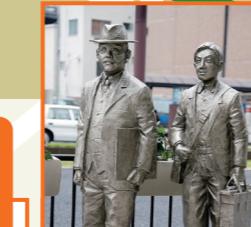


2 時標

樺山、黒田、大いに語る

樺山資紀、黒田清隆

徳川將軍家の繼嗣問題などで幕政が揺れる中、薩摩藩でも、若き志士たちが国家の将来について論じていました。



3 時標

黒田清輝、桜島の噴火を描く

黒田清輝、山下兼秀

大正3年、桜島は壮絶な噴火を起こします。画家の黒田清輝と弟子が噴火する桜島をスケッチしに鹿児島港へと出向きました。



4 時標

龍馬、お龍と薩摩でひと休み

坂本龍馬、お龍

坂本龍馬は妻のお龍と共に西郷らの勧めで薩摩藩へと湯治にやってきました。「日本初の新婚旅行」として有名です。



5 時標

重豪、薩摩の科学技術の礎を築く

島津重豪、家臣

島津重豪は、明時館という天文台を設置し薩摩暦を作成。天文学や医術などを発展させ、明治維新の原動力となりました。



6 時標

伊地知、吉井、政変について語る

伊地知正治、吉井友実

桜田門外の変が起き、幕府の政治も大きく揺れ、薩摩でも伊地知正治、吉井友実らが幕政の今について議論を重ねました。

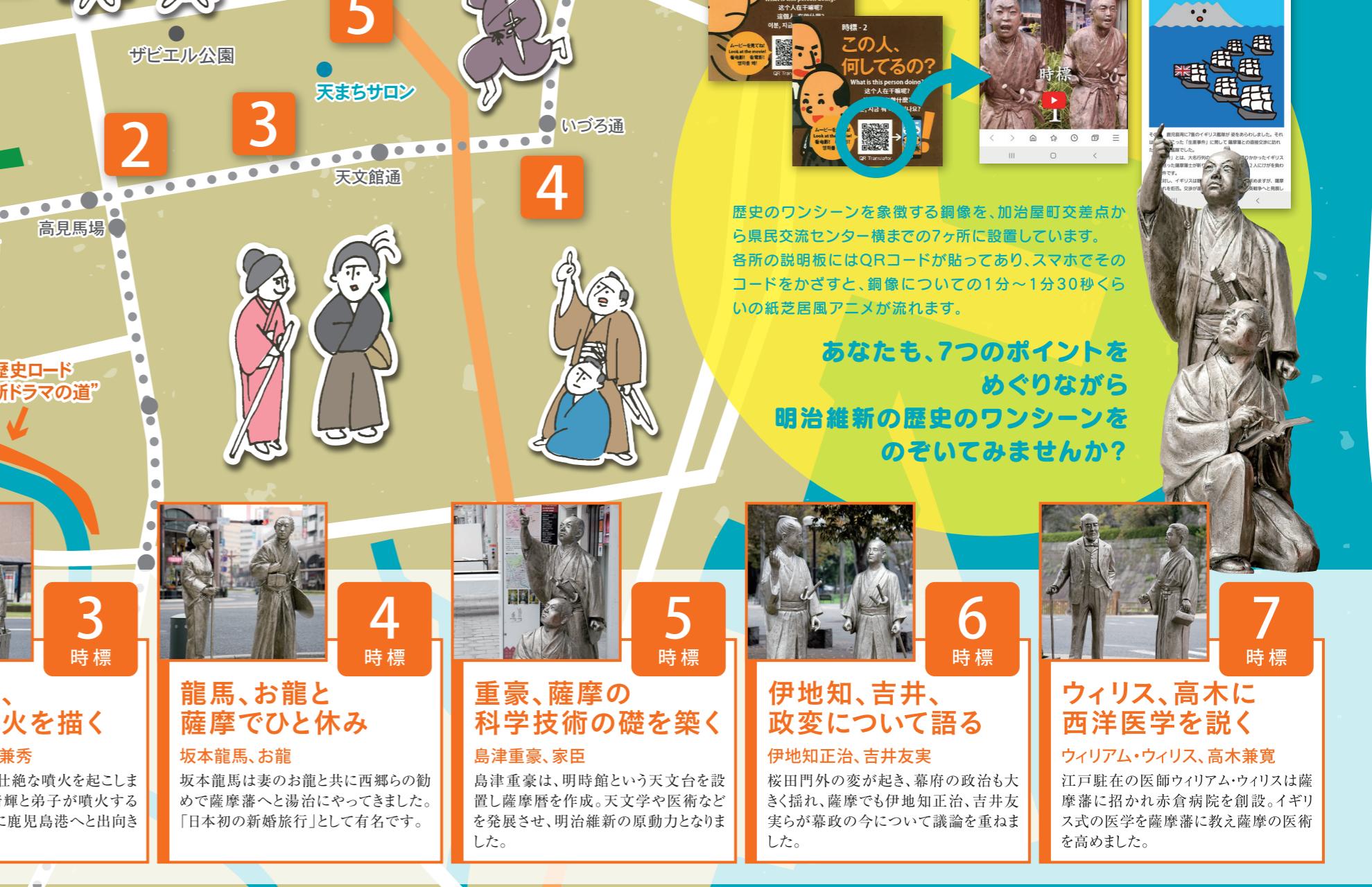
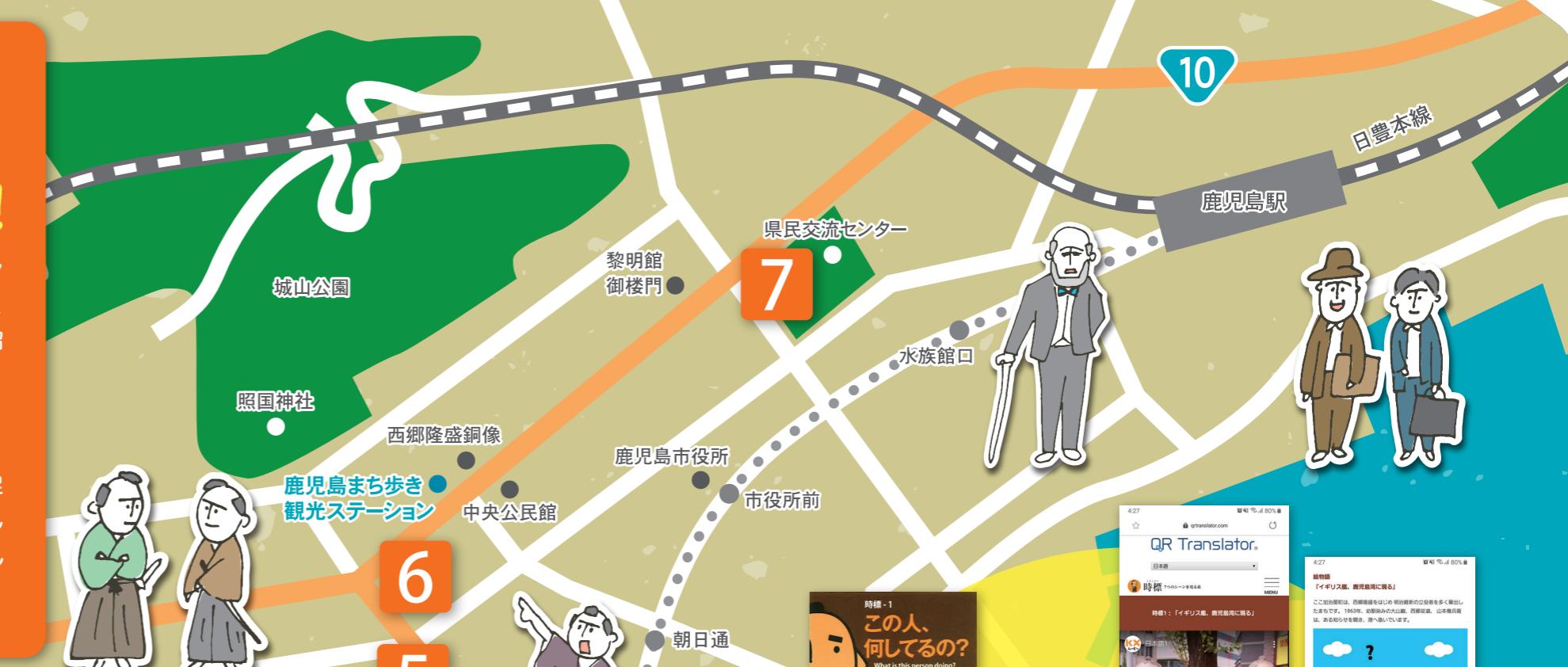


7 時標

ウィリス、高木に西洋医学を説く

ウィリアム・ウィリス、高木兼寛

江戸駐在の医師ウィリアム・ウィリスは薩摩藩に招かれ赤倉病院を創設。イギリス式の医学を薩摩藩に教え薩摩の医術を高めました。



歴史のワンシーンを象徴する銅像を、加治屋町交差点から県民交流センター横までの7ヶ所に設置しています。

各所の説明板にはQRコードが貼ってあり、スマートフォンでそのコードをかざすと、銅像についての1分～1分30秒くらいの紙芝居風アニメが流れます。

あなたも、7つのポイントをめぐりながら明治維新の歴史のワンシーンをのぞいてみませんか？

